

NPO 法人ピアサポート ひまわりの家 生きづらさを抱える人々が安心して過ごせる場

宝塚 NPO センター主催『平成 30 年度 宝塚市ソーシャルビジネス創業支援事業 ソーシャルビジネス 先進事例を見に行こう』に参加して

ひまわりの家（宍粟市）は、高次脳機能障害や引きこもりをはじめ、心や体に障害があり、生きづらさを抱える人を支援する場です。作業を通して「出来ること」や「得意なこと」を見つけていく場でもあります。カフェ、グループホーム、ミニデイサービスや地域活動支援センター、木工の加工場や農地が徒歩圏内に集まり、接客や料理、盛り付け、販売のほか、部品加工や木工、竹細工、陶芸、野菜作りなど幅広い活動の機会が提供されています。年齢や障害に関係なく、地域のみんなが集います。ミニデイでは認知症の高齢者とともにコースターを作ったり、近隣の保育園の子どもたちと種まきをしたり、カフェでお客さんとコンサートや落語を楽しんだり。この活動をしよう、と構えてはじめてたわけではなく、ただ目の前にいる顔が見える人達に「自分たちが出来ること」を続けるうちに今に至りました。

事務局長の松本むつみさんは、「10 年前に高次脳機能障害のお父さんを持つご家族から話を聞いたことが NPO 設立のきっかけ」だと振り返ります。「何か出来ることを」と地域の人々と一緒に、当事者や家族が集えるガーデンカフェを 7 年前にオープンしました。引きこもりの若者と知り合ったのも、庭の手入れをしていた時です。「何だか気になる子がいるな」の気持ちでご縁につながり、新たな支援が始まりました。そのうちに、「ボランティアでいいから何か手伝いたい」と自然に周囲に人が増え、地域コミュニティとのつながりが生まれました。現在は、兵庫県立大との地域連携のほか、地域の自治会から遊休農地の提供を受け、オーガニックコットンを地域ぐるみで栽培する「コットンプロジェクト」が進んでいます。地域と社会との協働の取り組みで、地域に新しい仕事を生み出そうとしています。

「もういやだ、と思っても、なんとか今、生きていることが、その一歩先を生きる希望につながっていくかもしれないと思うんです」と松本さん。人々がつながって作り上げてきた、『生きづらさを抱える人々が安心して過ごせる場』。はっきりと見える形での結果を急ぐのではなく、ゆっくり一歩ずつ自立に近づけるようなたゆまぬ努力が続けられています。地域の人々や自治会、社会を巻き込んだ協働・地域再生の知恵を出し合い、力を合わせて前に進もうとされています。その姿勢から、私たち宝塚市民も何か学べることはないでしょうか。



～就労の機会を提供したり訓練が出来る場や日常を過ごす活動の拠点～就労継続支援 B 型のカフェ「ひまわりの家」



スタッフとお客様との目線の位置まで細やかに配慮したカウンター。



「あなたの体はあなたの食べたものでできています」季節毎の食材を使用した無添加のランチ。



休耕田を活用してコットンプロジェクトも進行中。

コットンの花を育ててみませんか
今回ご好意で種を分けていただきました。花～丸みを帯びた実～実がはじけて中からふわふわのワタが…。ご希望の方はボラセンのカウンターに置いています。



●お知らせ

●第 5 回こむ 1 会フェスティバル

楽しい 1 日を「こむ 1 会」がおもてなしします。

日時：5 月 26 日（日）10：00～16：00

場所：ぶらざこむ 1 対象：どなたでも

費用：無料（一部、飲食・物販は有料）

主催：第 5 回こむ 1 会フェスティバル実行委員会



昨年の様子

【ボランティアも大募集！】

フェスティバルの準備会を開催します！

会場案内や抽選会の準備などを予定。どなたでも OK なのでぜひご参加ください。

日時：5 月 18 日（土）10：00～12：00

場所：ぶらざこむ 1

問合せ：宝塚社協ボランティア活動センター

